

心と体の

メンテナナンス

今月のテーマ◆皮膚のトラブル

ホクロと似た皮膚がん 形や色の変化に要注意

Q メラノーマとは、どう
いう病気ですか？

A 皮膚にできるがんは、その悪性度の観点から、メラノーマと非メラノーマの二つに大別されます。メラノーマは、メラニン色素を作る細胞ががん化したもので、悪性黒色腫とも呼ばれます。増殖と転移が速く、悪性度が非常に高いため、治療が遅れると命にかかわるケースが多くみられます。

Q メラノーマにはどの
ような症状がありますか？

A メラノーマは、シミやホクロとの判別が難しいことがあります。次に挙げる症状が一つでも当てはまる場合は、皮膚科専門医を受診してください。
▽(シミ、ホクロの)形が上下左右対称でない、▽緑の部分(ギザギザ)になってきた、▽色がまだらで、黒と白い部分に分かれてきた、▽直径が6ミリ以上ある、▽色や大きさ、形が変化している。

Q 皮膚がんはどのよう
に治療しますか？

A 外科的手術が治療の第一選択となります。進行が速いメラノーマの場合、周辺組織に転移している可能性があるため、正常な皮膚も含め、かなり広範囲にわたって切除します。また、リンパ節への転移の有無を調べるため、リンパ節を切除して病理組織検査(生検)を行います。有棘細胞がんと基底細胞がんは、内臓のがんに比べる増殖と転移のスピードが遅く、皮膚を観察して見つけることもできるため、早期発見し、早期治療を行えば、恐れることはありません。ただし、放置すると皮膚の奥深くまで入り込み、特に基底細胞がんの中には、骨までどんどん進行するタイプがあるため、早い治療が必要です。

Q シミおよびホクロと間違えられることが多いようです。ほかにバジレット病といって、乳首、陰部、脇の下にできるがんがあります。特に女性の乳首に多く、見た目は傷に似ています。次のような症状がある場合は、皮膚科専門医の診察を受けてください。
▽ホクロの周囲が白く輪のようになってきた、▽顔にできたかさぶた様のものが大きくなり、縁が盛り上がってきた、▽唇に治りにくいかさぶたや、口の中に白く見える部分があり、取ると血が出る部分がある、▽以前やけどした部位から、角(つの)のようなものが生えてきた、▽治りにくい湿疹や傷がある、▽乳首に治りにくい傷があり、血が出る部分がある、▽脇の下や陰部に、ピンク系の平たい湿疹がある。

INFORMATION
日本クリニック
Nihon Medical Group
15 W. 44th St., 10th Fl.
(bet. 5th & 6th Aves.)
TEL: 212-575-8910
www.nihonclinic.com



フーン・チャン先生
Hoon Chung, MD

皮膚科専門医。東京大学医学部付属病院で皮膚科研修を修了後、開業医および虎ノ門病院皮膚科にきび専門外来勤務医として地域医療に10年間従事。ロンドン大学で臨床皮膚科学およびウイルス学修士号取得、ハーバード大学医学部リサーチフェローを経て今年6月からニューヨークで臨床。

皮膚がんは、白人に比べ日本人では発生頻度がはるかに低く、それほど心配する必要はありません。また、転移する前に腫瘍を切除すれば、まず完治します。

メラノーマの一部と、ほぼすべての有棘細胞がんと基底細胞がんは、紫外線での発生頻度が増加します。日焼け防止が最大の予防法です。

※最終回の次回は、紫外線が原因の皮膚のトラブルについてお聞きします。